

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。45歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市民議員に初当選、現在2期目。公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



横浜市会臨時会で補正予算を可決

過去最高となる約5800億円の補正予算を計上。コロナウイルス感染症の拡大防止と医療提供体制の整備、市民生活、企業・事業活動への支援をめぐり、集中的な審議を行いました。

《決定した主な施策》 ※裏面の「おもな支援策まとめ」もご参照下さい。

- PCR検査体制を強化
市内10か所程度でドライブスルーPCR検査を実施、検査費を無料化
- 感染拡大防止対策を強化
病院、福祉施設、学校、保育所等への感染症対策物資の確保と配布。
また公明党の要望で、旧市民病院を軽症者等の宿泊療養施設として活用。
- 教育のICT環境整備を加速
オンライン授業のため市立校の全生徒へ「1人1台」のタブレット型PCを配布
- 商店街を強力に支援
様々な活動に使える1店舗あたり10万円の支援金を交付
- 子育て世帯を支援
児童手当受給世帯へ、児童一人あたり1万円の臨時特別給付金を給付
※本則給付の世帯のみ。6月15日以降に順次振込まれます。
- 中小企業を支援
横浜市独自の無利子・無担保の融資メニューなどを創設。
また、危機関連保証の認定を迅速に行うための体制を強化



©KOMETTO

コロナに負けない!

過去最大(約5800億円)の緊急補正予算を可決!

◆全国民に10万円の特別定額給付金の支給を推進!
皆さまの声を受け止め、公明党は「所得制限なし」「一人10万円」の早期の支給を要望。山口代表の「国民に届く」と連帯のメッセージを伝えるべき」との強い申し入れにより、安倍総理が決定しました。

◆医療・介護の現場を守る!
感染拡大防止と医療現場の体制、マスクなどの衛生資材の円滑な調達、軽症者の療養施設に市民病院の活用、介護現場の安全とサービス向上へ、感染予防の徹底と利用者に寄り添った対応を行います。

◆横浜の活力を守る!
中小企業の特長を活かせるため、横浜市独自に無料・無担保の融資メニューなどを創設。商店街支援として様々な活動に使える1店舗あたり10万円の支援金を交付します。

公明党 横浜市 議員団
Voiceよこはま PhotoNews Vol.8
たけのうち猛 横浜市議員

▲フォトニュース(ポスター)も貼り出し、議会報告させて頂いています。

質疑で施策を深める!

本会議ではコロナ対策等の補正予算案をめぐり、公明党議員団として市長・教育長に対し、以下の質疑・要望を行いました。

▶自宅療養する軽傷者等の容態急変を察知するため、国で公明党が提案した「パルスオキシメーター」で血中の酸素濃度を計測することが有効であり、積極的な活用を

☞ 答弁

神奈川モデルで、アプリや電話により自宅療養者の朝夕の検温や呼吸器症状を確認していますが、加えて横浜市独自にパルスオキシメーターの貸与・活用を開始しました。

▶「特別定額給付金」を誰もが迅速に、支障なく受給できるように

☞ 答弁

封筒・申請書の作成、宛先の印字や送付、申請内容の確認・審査、振込先データの入力、支給状況を管理するシステムの構築などあらゆる工程で膨大な作業が必要ですが、迅速かつ的確に行って参ります。また視覚障がい者の方には点字や音声コードを封筒上に記載。在住外国人の方には外国語等による案内書の同封と、多言語によるコールセンターを設置。DV被害者の方には直接本人に支給されるよう丁寧に対応します。

▶子育て家庭への支援をきめ細かに

☞ 答弁

就学援助対象について、前年の総所得ではなく新型コロナにより家計が急変した時点での収入状況で判断するなど柔軟に対応できるよう検討します。子育て世帯臨時特別給付金について特別な手続きは不要とします。また、他都市に里帰り出産し定期予防接種を行った乳児の接種費用について払戻し期間の延長を検討します。

▶活動の場と収入を奪われたアーティスト、クリエイターへの支援を積極的に

☞ 答弁

アーティストやクリエイターにとどまらず、舞台製作・運営にかかわる幅広い方々を支援します。また市内のライブハウスが、無観客公演を映像配信する際の費用などを支援します。

たけのうち猛 所属委員会など

市会臨時会では新年度の各委員会委員の選任も行われ、私も以下任命を頂きました。

◆常任委員会

「温暖化対策・環境創造・資源循環委員会」委員

◆「健康づくり・スポーツ推進特別委員会」委員長



「新型コロナウイルス感染症に伴うおもな支援策まとめ」は裏面へ





《市民の皆さまへ》

個人・世帯向け

5月25日現在

新型コロナウイルスで影響を受けているすべての方に		特別定額給付金	
新型コロナウイルスで影響を受けているすべての方に		一律1人10万円を給付 住民基本台帳に記載(4/27時点)されているすべての人	横浜市コールセンター ☎0570-045592 9:00～17:00(土日祝含む)
離職等で住居を失った・失うおそれがある		住居確保給付金 家賃実費支給(例)2人世帯で月6万2千円が上限 支給期間:原則3ヵ月(最長9ヵ月)	金沢区生活支援課 ☎045-788-7814 9:00～17:00(土日祝除く)
子育てで世帯で家計が大変		子育ての臨時特別給付金 児童手当の受給者に対し、 子ども1人当たり1万円を給付 ※公務員以外の方は申請不要	横浜市こども青少年局 ☎045-641-8411 9:00～17:00(土日祝除く)
失業・収入減で大学等の授業料が支払えない		高等教育修学支援新制度 授業料減免・返済の必要のない給付型奨学金	日本学生支援機構 ☎0570-666-301 9:00～20:00(土日祝除く)
収入が減って家計の維持が難しい		緊急小口資金(特別貸付) 貸付上限～10万円(特に必要の場合は～20万円) 据置期間:1年以内、償還期間:2年以内 総合支援資金(特別貸付) 2人以上世帯は～月20万円、単身は～月15万円 据置期間:1年以内、償還期間:10年以内 原則3ヵ月まで	金沢区社会福祉協議会 ☎045-788-6080 厚生労働省「全国共通相談ダイヤル」 ☎120-46-1999 9:00～21:00(土日祝除く) 労働金庫連合会 ☎120-22-5755 9:00～17:00(土日祝除く)
市区町村民税・固定資産税が支払えない		収入が減り(前年同月比20%以上)した方は無担保かつ延滞金なしで納税を猶予	金沢区税務課収納担当 ☎045-788-7764
国民健康保険料・国民年金保険料が支払えない		国民健康保険料の減免・猶予については、6月の保険料額決定通知書送付時にご案内。 国民年金保険料は免除・納付猶予の制度あり。	国民健康保険 → 金沢区保険係 ☎788-7838 国民年金 → 金沢区国民年金係 ☎788-7831
公共料金や電話料金(固定・携帯)が支払えない		支払期限を延長(事業者向けにも支払猶予あり)	各電気・ガス・水道・電話等事業者
住宅ローンが支払えない		今後の利払い・返済スケジュールの変更について相談が可能	各金融機関または 金融庁相談ダイヤル ☎120-15-6811 10:00～17:00(土日祝除く)

事業主向け

感染拡大防止のため休業や時間短縮をした		感染拡大防止協力金	
自衛などで業績が悪化(売上げ半減)		持続化給付金 売上げ前年同月比50%以上減少した事業者に給付金を支給 上限:中小200万円、個人事業100万円	神奈川県産業労働局 ☎045-285-0336または050-744-5875 9:00～19:00(土日祝含む) 中小企業支援課
従業員に休んでもらう場合		雇用調整助成金(コロナ特別) 休業等助成(中小)なら最大10分の10) 助成率は、企業規模・雇用条件で変動	持続化給付金事業 コールセンター ☎120-115-570 8:30～19:00(土日祝含む)
従業員に子どもがいる場合		小学校休業等対応助成金 1日あたり8,330円を上限に賃金相当額を助成	神奈川県労働局 神奈川助成金センター ☎045-650-2801
フリーランスで子どもがいる場合		小学校等休校で休業した個人事業主またはフリーランスに1日あたり4,100円(定額)の助成金を支給	厚生労働省コールセンター ☎120-60-3999 9:00～21:00(土日祝含む)
貸付(かりる)		無利子・無担保融資 (借り換えも可) セーフティネット保証(4・5号) ／危機関連保証 ▼ ネット経融資の金利引き下げ	日本政策金融公庫 ☎120-154-505 9:00～19:00(土日祝除く) 民間金融機関 取引のある金融機関または最寄りの金融機関
貸付(かりる)		資金繰りのため融資を受けたい	日本政策金融公庫 ☎120-154-505 9:00～19:00(土日祝除く)
猶予(支払延長)		法人税や消費税などの納税が難しい	最寄りの税務署または 国税庁相談センター ☎03-6672-3503
猶予(支払延長)		健康保険料が支払えない	健康保険協会または組合・日本年金機構

新型コロナウイルス感染症に伴うおもな支援策まとめ



《事業者の皆様へ》